

岩手県・久慈 南部アカマツ

高品質なアカマツ材を使ってみませんか。



国内でも貴重なアカマツ資源の宝庫

岩手県の太平洋岸、リアス式海岸の北端に位置する久慈地域は、優良なアカマツ林に恵まれています。特に、樹から自然に種が落ちることにつくられた、アカマツ天然林が多いことが特徴です。

その一方で、日本各地のアカマツ林は、松くい虫によって壊滅的な被害を受けています。被害は徐々に北上し、現在は岩手県の内陸北部まで達していますが、久慈地域には被害が及んでおりません。この地域のアカマツ林は国内でも貴重な資源だと言えます。

久慈地域の アカマツ材の特徴

久慈地域のアカマツ材は、なんと言っても、まっすぐで太く、木目が詰まっていること。そのほか、ヤニが少なく、おだやかで優しい色合いだという特徴があります。

アカマツは、春から夏にかけて伐採すると、材の色が青くなることがあります。久慈地域では、この変色を防ぐため、「寒伐り」と呼ばれる冬季の伐採作業が行なわれています。

樹齢が概ね100年以上の大径で木目が詰まったアカマツは、伝統建築や歴史的建造物などの高級建築用材として利用されています。



幹がまっすぐで太いアカマツ



一面に広がるアカマツ天然林



おだやかで優しい色合いの
久慈地域のアカマツ

材の良さを生かす 乾燥・品質管理

伐採されたアカマツの丸太は、主に建物の梁材として用いられる「平角材」や「たいこ梁」などに製材されます。

建築の材料として木材を使用する際には、十分に乾燥させることが必要です。久慈地域のアカマツ材は、特有な風合いを活かすため、1年以上屋外に積んで乾燥させる「天然乾燥」が行われています。

また、必要に応じて乾燥機を用いた「人工乾燥」を組み合わせ、用途に応じた適切な含水率になるよう、十分な品質管理が行なわれています。



栈積みした上に屋根を掛けて天然乾燥



乾燥後に製材された「たいこ梁」

南部アカマツ 時を経るほどに魅力を増す素材

アカマツ材の穏やかな色合いは、年月を経るにつれて、徐々に深い琥珀色に変わっていきます。まさに時を経るほどに魅力を増していく素材といえるでしょう。

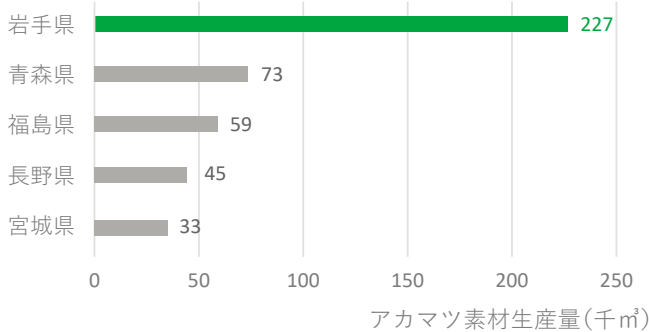
室内の床や壁の仕上げとした場合には、温かみがあり、優しい感触を肌で感じることができます。皆様には久慈地域のアカマツを使用して、この魅力を感じていただきたいと思っています。

データで見る久慈地域のアカマツ

アカマツは、北海道南部から屋久島まで、全国に広く分布している日本人になじみの深い樹木です。岩手県は日本一のアカマツ産地。その中でも、久慈地域は、森林の約1/3をアカマツが占め、松くい虫被害も発生しておらず、貴重なアカマツ資源が豊富に残っています。

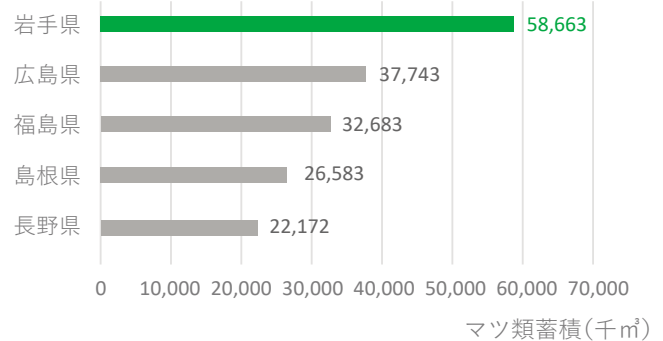
1 アカマツ資源の状況

都道府県別 アカマツ素材生産量 TOP5



林野庁 令和4年木材受給報告書より

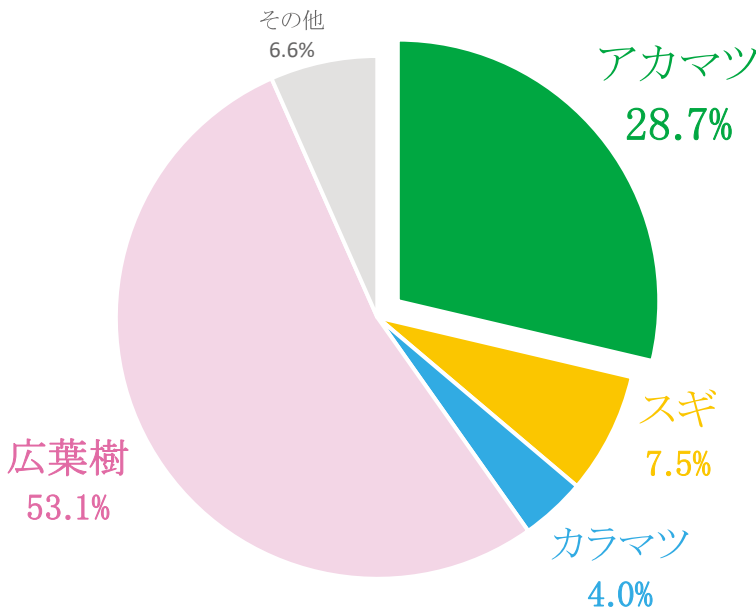
都道府県別 マツ類蓄積 TOP5



出典：林野庁計画課、経営企画課調べ

2 久慈地域の森林資源

久慈地域の民有林
樹種別森林面積割合(%)

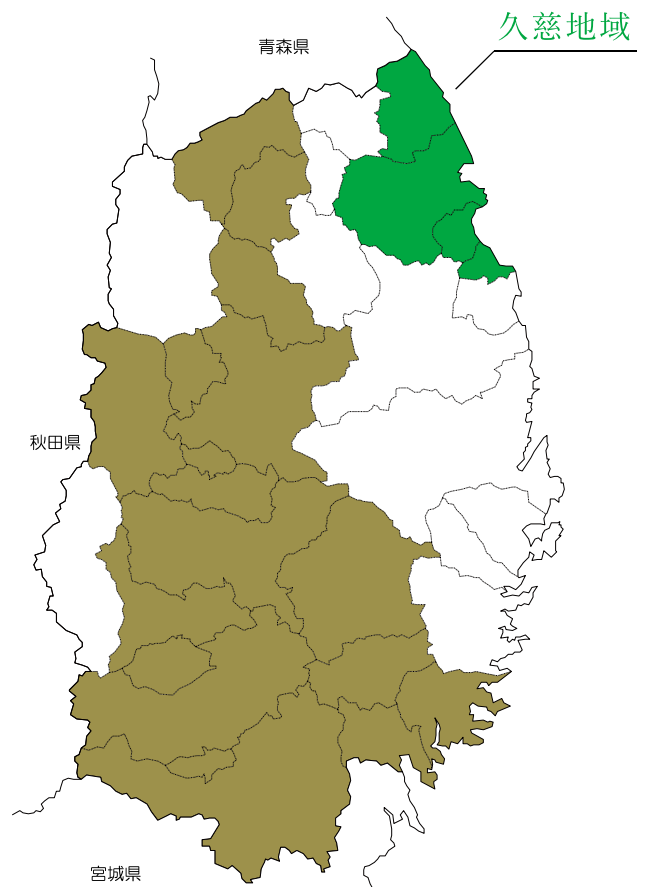


民有林面積 約74,000ha

令和4年度久慈地域森林資源管理データより

お問い合わせはこちらまで

3 松くい虫被害の状況



■ 岩手県内で松くい虫被害が確認された市町
令和5年8月現在 岩手県調べ